

南牧村広瀬地区の 復旧治山事業が終わります

平成21年8月11日の豪雨により、南牧村広瀬地区を中心に山腹の崩壊および急激な沢の増水による土砂流出等の災害が発生しました。

被災箇所の早期復旧を図るため、平成22年度から平成24年度までの3年間に、復旧治山事業により重点的に対応することにしました。そして、この間に土砂災害発生の原因となった山腹の崩壊の復旧や荒廃した沢の安定を図るための谷止工や護岸工などの施設を設置し、合わせて荒廃した森林の整備（間伐）を行いました。

今後も、各地域の生活の安心・安全を図るため治山事業の実施に努めていきます。

【被災当時の様子】



崩壊した山腹



土砂流出

【完成した様子】



荒廃した沢



谷止工・護岸工